

分類	区分	内容	うれしさ	研修名	日数	対象部門					対象階層		海外実績			
						研究開発設計	生産技術	現場監督作業	品質保証	間接部門	経営幹部	管理者		一般		
品質管理(総合)	TQM	全員参加・全部門による顧客満足度向上のための品質経営活動	・企業体質が向上出来る。 ・品質向上/品質保証体制が確立する。 ・各階層・部門の役割が明確になる。	TQM管理者セミナー	1				●	●	●	●				
	方針管理	会社方針をもとに各部門が目標・方策を設定し、会社目標を達成するための活動	・重点目標・管理項目が明確になる ・各階層・部門の役割が明確になる ・組織の縦・横の連携と強い協力体制ができる。	方針管理講演 方針管理 目標管理	0.5 2 2		●	●	●	●	●	●				
	管理項目	会社運営効率向上に重要な各業務の管理項目設定。仕事の出来栄(結果)をみる指標(ものさし)を設定する	・管理者にとって管理すべき項目が明確になる。 ・仕事が進んでいるかを評価できる。 ・TOP方針を具現化する管理者の目標設定、部下の仕事の管理が明確になる	管理項目設定	1	●	●	●	●	●	●	●				
企画品質向上と開発の仕組み作り	品質機能展開(QFD)	お客の声を抽出して整理し、ベンチマーキング(他社比較)することにより、他社よりも「魅力のある」商品企画と製品SPECへの展開し技術課題の抽出と各部門の課題への展開を行う方法。	・お客様(次工程)の本当のニーズの把握ができる ・部門間連携の強化(風通しのよい開発) ・顧客ニーズと競合他社の情報を元に開発目標が明確になる ・魅力的な商品の企画ができる	QFD啓蒙講演	0.5	●	●	●	●	●	●	●	●			
				QFD	2	●	●		●			●	●	●		
問題・課題解決と核人材育成	6シグマ	経営目標達成のために、最も適切な手段(統計分析手法、品質管理手法)を踏んで経営戦略上の重要課題の解決につなげる活動	・経営TOPの目標・方針を素早く実現する企業体質に変革できる ・プロジェクト遂行能力の高い人材の育成と人材を育成するプロの育成ができる	6シグマDFSS 6シグマDMAICフルコース 6シグマDMAIC短期コース 6シグマ概論研修	24 20 8 0.5	●	●	●	●	●		●	●			
	課題達成	管理者・リーダーとして求められる能力・役割を認識し課題を達成するアプローチ法	・課題達成のやり方が身に付く ・管理者の心構え、求められる能力が身に付き、役割認識ができる	課題達成 課題達成 課題達成現場系	1 2 1	●	●		●	●						
	QI	QC7つ道具、新QC7つ道具を活用し、問題・課題解決を行うための方法	・効率的に問題/課題を解決するために最低限必要な方法を身につける事ができる	QIBasic	2	●	●	●	●	●		●	●			
	データ解析	効率的にデータの持っている情報を抽出し技術の生産性を上げる方法	・効率的で正しいデータ解析ができるようになる ・データの有効活用ができ技術の生産性が上がる	データ解析	1	●	●	●	●			●	●			
	なぜなぜ分析	「なぜ」を繰り返し真因を追究する方法	・一般的・抽象的な考えから本質的・具体的な考えへの変革ができる ・目の前で起きている現象の真の原因を掴むコツが掴める	なぜなぜ分析	1	●	●	●	●			●	●			
新技術・新製品開発	品質工学(タグチメソッド)	安くて良い品質の技術・製品を効率的に開発する方法	・製造から設計への後戻りの激減ができる ・チューニング・検査等の費用の大幅削減ができる ・開発期間の短縮ができる ・市場クレームの大幅削減ができる	TMAAdvance	4	●	●						●			
				TMBasic	2	●	●		●					●	●	
				TMBasic	5	●	●		●						●	●
				TM概論	1	●	●		●				●	●		
				TM概論	0.5	●	●		●			●	●			
				オンライン	2	●	●	●	●							
新技術・新製品開発	7ハラノビスタグチシステム	技術的アプローチによるパターン認識技術	・曖昧なデータ(目視など)から高精度なパターン認識ができる ・予測・診断等ができる	MTS	2	●	●		●	●			●			
				新商品開発	新商品開発フルコース	8	●	●		●				●	●	
				発想法(TRIZ)	TRIZ	2	●	●						●	●	
				アドバンスQFD	QFDアドバンス	2	●	●		●				●	●	
信頼性向上と未然防止	FMEA/FTA	多くの情報(固有技術、経験、ノウハウなど)をもとに、不具合を事前に予測し、分析・対策を講じ信頼性の高い製品や工程を作り上げる方法	・新規製品のリスクを事前に把握できる ・品質問題の再発防止できる ・スムーズな量産立ち上げができる	FMEA・FTA概論	1	●	●		●		●	●	●			
				FMEA・FTA	2	●	●		●			●	●	●		
	DRBFM	設計変更点に着目したFMEA解析を指し、設計の変更点によって引き起こされる影響(不具合事象)をデザインレビューを通して漏れなく洗い出し、設計業務にフィードバックすべき未然防止策を検討する方法	・設計変更点によって引き起こされる不具合事象が見つかる ・不具合事象をもれなく洗い出せる ・設計業務にフィードバックすべき未然防止策の検討ができる	DRBFM	2	●	●		●							
				DRBFM講演	0.5	●	●	●	●		●	●	●			
デザインレビュー	設計の評価と見直しを計画的・組織的・体系的に行う	・設計要求事項及び代替設計に対する客観的評価ができるようになる ・加工工程や組み立て工程に対する要求を設計段階で明確にできる ・品質問題・設計変更・新設計の開発等、開発に必要な情報を相互に提供できる	効果的デザインレビュー	0.5	●	●	●	●		●	●	●				
信頼性工学	製品の信頼性と安全性を確保するためシステムの信頼性を分析する工学手法	・製品の信頼性の向上が図れる ・安全性の向上が図れる	信頼性工学	2	●	●		●								

